

住み慣れた地域で、自分らしい生活を、送るために

台東区

在宅療養支援窓口通信

令和5年11月号

No. 11

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



区外病院の相談員

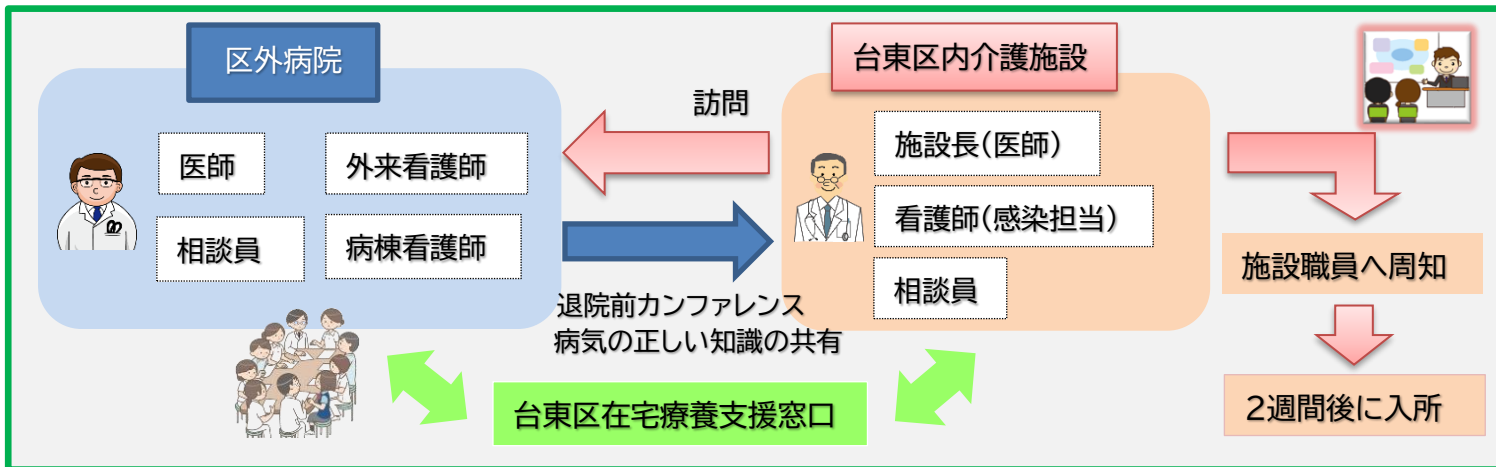
アルツハイマー型認知症と筋力の低下があり、自宅での介護が難しく、ご家族が介護施設の入所を希望しています。しかし、本人に HIV 感染があるため、入所できる介護施設が見つかりません。ご自宅の近くにある介護施設を希望していますが、どこかありませんか。

<在宅療養支援窓口スタッフの支援内容>

ご家族と共に、本人が入院している区外病院へ行き、医師、看護師、相談員から説明を受けました。本人の状態は安定しており、「病院で過ごすより介護施設での生活の方が良いのではないか」と感じました。

HIV 感染があることで施設の入所調整が難航する中、区内の介護施設に相談したところ、「台東区に長年住んでいる方を受入れできないのは悲しいこと。働く職員に正しい知識を知ってもらい、受入したい」とお返事を頂きました。

本事例では、本人が入院している区外病院より、退院前カンファレンスや施設職員向けに HIV に関する正しい知識の共有を行った後、2週間後に本人は施設入所となりました。



<ご家族の反応>

一緒に病院に行って、病院との調整をしていただき、本当にありがたかったです。一人ではわからないことが多かったですが、たくさんの方に助けていただき、台東区に戻ってくることができました。家から近いので、面会にも行きやすく本当に助かりました。

ご家族の方は、今まで経験したことがないことに、どのようにしたらいいかわからず、不安な様子でした。一緒に病院に行き、説明を受け、ご家族の気持ちを一緒に伝えられたことは、ご家族の不安を軽減し、気持ちを楽にできました。窓口スタッフにとっても、現状を知り、どのような支援ができるかを考えるいい機会になりました。そして、今回は、病院と介護施設へのいい橋渡しができたのではないかと思います。

台東区在宅療養支援窓口 電話:03-5603-0235

